

宮古エフエム放送株式会社

第 10 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 27 年 2 月 25 日(水) 午後 6 時
2. 開催場所 宮古市栄町 3 番 35 号キャトル 5 階
3. 委員の出席 委員総数 :5 名

出席委員数 :4 名

◎出席委員 (敬称略)

駒井 剛機 (委員長)

村田 美穂 (副委員長)

山崎 セツ

臼木 禮子

◎会社事務局側出席者 (3 名)

佐々木 大和 (専務取締役)

坂本 和 (取締役放送局長)

他事務局 1 名

4. 議題

水曜日 16:30 から 16:50 までの夕方の生番組コーナー、市内にお住いの外国人の方々に参加いただき、文化の違いや「多文化共生ラジオ」2/18(水)放送分を 20 分程度聴いていただき、意見、質問、感想等を受けた。

5. 審議の内容

【感想・意見】

外国人 3 名・通訳 1 名・ナビゲーター 1 名が男性ばかりで重く感じた。女性が入ることで少し明るくなるのではないかと。

【感想・意見】 山崎(セ)委員

外国の方が話している時、所々しか聞き取れず難しく感じました。女性の視点での話も聴いてみたいと思いました。

【感想】

聴き始めは、外国語に対し難しく感じましたが、話を聴いていると興味がわいてきました。

【感想・意見】

テレビであれば字幕が入り、同時に何を話しているかわかるが、ラジオの場合はそれができないので、少し難しい部分はあるのかなと感じます。しかし、若い人たちも含めこれから国際化した社会を生きていく中で、大切な分野なので、勉強にもなる。文化の違いが分かるとても良い番組であり、是非、多国の方に参加していただきたい。そして、折角いい番組なので、番組の冒頭に、この番組の趣旨を付け加えることでより多くのリスナーに理解してもらえると感じた。

冒頭で、前日の地震が話題になっていたが、災害時の放送をする際に、英語などでのアナウンスも必要と感じました。是非、今後の課題として取り組んでいって欲しいと思います。

6. その他

審議委員任期について

任期満了に伴い、以下の者(4名)を番組審議委員に選任(再任)した。

・番組審議委員 駒井剛毅、村田美穂、山崎セツ、臼木禮子

また、以下の者(1名)についても番組審議委員に選任予定であり、後日承諾依頼を行う。

・番組審議委員 山崎政典

7. 審議機関の答申又は改善意見に対して取った措置及びその年月日

女性メンバーの参加に関しては、少数の女性外国人の中から参加を強制できるものではなく少し難しいと考えるが、番組の冒頭に、趣旨説明のコメントをすることについては、次回放送分(平成27年3月4日)より改善するよう指示する旨即答。

災害時のアナウンスを多言語で行うことについては、マニュアルの作成及び社員教育が必要であり、今後の課題と考えている旨回答。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合の公表内容等

公表方法 : 本社事務室に備置き
 : 自社ホームページに掲載

公表内容 : 議事録を公表

公表年月日 : 平成 27 年 3 月 16 日